

---

# テイルズＶＳファイアーエムブレム 世界最大のイス取りゲームキングオブチェア！

パルポン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

テイルズVSファイアーエムブレム 世界最大のイス取りゲーム  
キングオブチャーチー！

### 【Zコード】

N4011Z

### 【作者名】

バルボン

### 【あらすじ】

「youkiさんの小説読んでたら結構面白いってことで開催

ただ、原作無視のほぼオリジナルなのでその辺注意してください

## おや始めて（前書き）

本気でこの小説は駄作です

まあとりあえず読んでみてください

## まず始めに

### ルール

ティルズオブVSファイアーエムブレムのチーム戦の5VS5。  
マップ内にある2011個ある内の10個がトゥルーチェアで5個  
座ったチームにキングチェアの場所が解禁され、それにチーム全  
員が座つたらそのチームの勝ちとなる  
ただし残りの2000個（念のため、10個はトゥルーチェアで1  
個はキングチェア）ある内の500個にトラップが仕掛けたある  
100個は電気椅子、100個はタライ落とし、  
そのほか300個はゲーム中でのお楽しみ。それぞれ100個ずつ  
また、マップ内に宝箱が複数設置されていてその中には多彩なアイ  
テムがあつたりトラップがあつたりと・・・

ファイアーエムブレムチーム

マルス（ファイアーエムブレム新紋章の謎）

ロイ（ファイアーエムブレム封印の剣）

リン（ファイアーエムブレム烈火の剣）

アイク（ファイアーエムブレム蒼炎の軌跡）

ミカヤ（ファイアーエムブレム暁の女神）

## まず始めに（後書き）

念のために書いておきます

ルークは髪が短いほうです

キャラを良く知りたい人はググってください

## セの1（前書き）

あ、忘れてたけど時間は無制限です

「パル（ナレーショーン）」「もうめんどくさいからちやつちやつと始めちゃうぜ。でも……」

全圖「ニモサハ一？」

ルーク「その前にマップはどうなんだよー!？」

バル（ナレーション）「え？遊園地に決まってるだろ？じゃあ・・・

۷۰

クレス「・・・もう始まっちゃった」

スタン「よーし! 燃えるぜっ!」

と、元気よく走ったスタンだが・・・

スタン「あ、  
イスだ」

アスベル「・・・完全にトラップだよな」

アイク「ああ。全くの同感だ」

ミカヤ「行きましょ~」

そのまま全員バラバラ・・・

ロイ「・・・やつぱり気になるな」

と、思こきやロイがいた

ロイ「もうここにや一坐つちまえ!」

ブー

ビシャ――ン――

ロイ「ギャー――！」

電気イスだ・・・

ロイ「し・び・れ・るう・・・」

ロイは痺れて動けない

一方その頃

アイク「・・・これが?」

ブー

アイク「違うか・・・じゃああれか?」

ブー

アイク「・・・これが?」

ブー

アイク「くそつ・・・じゅあ」こつか?  
「

ブー

ガツシャ——ン!—!

タライだ・・・

アイク「くつ・・・!」

一方その頃

リン「見つからないな・・・あ、宝箱」

ガチャツ

中には・・・おとしあなのタネだ

リン「じゅあ」の辺に設置しておけ!「

ヒヨイツ

リン「やうと・・・」

ブー

リン「違つ・・・」  
「れかな?」

ブー

リン「じやあ・・・」  
「れ?」

ブー

リン「・・・あれかな?」

ブー

リン「うん・・・イス取りゲームなのに難しいなあ  
」

「うわーー？」

リン「あ、だれか引つかかったみたいね・・・これ？」

ブー

リン「あ、じゃあれ？」

ブー

ガシャーーン！！

リン「こいつたあ～・・・タライだつたみたい」

ミカヤ「いたたた・・・」

リン「あれ？ミカヤが引いたの？」

ミカヤ「今セリモムとしあなにかかつてしまつて・・・」

リン「（あ、それ私だ）」

ミカヤ「どうしました？」

リン「ううと、なんでもない」

一方その頃

カイル「宝箱みーつけ！えーっと・・・ヒントペーパーだ！」

ヒント

遊園地で一番高い所の近く

カイル「あ、じゃあ観覧車かな？」

移動するカイルだが・・・

マルス「（ふうん・・・じゃあ後迫おつか・・・）」

一方その頃・・・

ルーク「くつそーー見つかんねー！」

何度も座ってるもののなかなか当たらぬ

ルーク「つたぐ・・・これ、トラップなんだろ？座るわけねえつつ  
ーの」

怪しんでこのイスから離れる・・・

アイク「・・・あれか？」

ルーク「ん？」

ピンポン

なんとそのイスはトウルーチェアだった！

ルーク「なつ！？」

アイク「よし・・・」

ルーク「（くつそー！！折角近くにあつたのに！）」

一方その頃・・・

カイル「・・・あれかな？」

どうやら見つけたらしい。が・・・

ヒュッ、ベチャッ

カイル「！？これって・・・」

マルス「ごめん・・・でも僕達は負けるわけにはいかないんだ！！」

ブー

ヂヂ ピーーン――――

イスが爆発した

マルス「・・・（氣絶中）」

カイル「あ、危なかった・・・」

ちなみにカイルは蜘蛛のネットとトラップに縛られて30秒間動けない

## ルール（運営）

ルールは終り方やルールを定めます。・・・

## その2

カイル「えーっと……おかしいな……一番高いところって観覧車ぐらいしか思いつかない……」

カイルは一応うかがおしてみると、そこには発見した

カイル「あ、もしかしてあそこか?」

目線の先は……

「この遊園地で一番高い山、アイス山だ。」

なお、アイス山といつても雪はない。

カイル「もしかして……まいいや。いつてみよ!」

「……一方その頃……」

ブー

クレス「うう・・・またはずれか・・・」

スタン「あ、クレスー。そつちはどうへ~」

クレス「全然だめだよ・・・なかなか見つからない」

スタン「そうなんだ。まあがんばってね」

クレス「分かつてると、スタン」

スタンと別れてその後・・・

クレス「あ、箱見つけ!えーっと・・・ヒントペーパーか」

ヒント

自然が作りし洞窟の宝の在り処

クレス「たしか・・・」から湖に浮かんでるライシン島だったは

すだ。行ってみよつ

しかし、近くに・・・

? 「なるほどね・・・」

その2（後書き）

短いなー

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4011z/>

テイルズVSファイアーエムブレム 世界最大のイス取りゲームキングオブチ

2012年1月10日20時50分発行